

## マイボーム腺機能不全に対する LipiFlow® 無効例への追加治療効果

福岡 詩麻<sup>1)2)</sup>、森重 直行<sup>3)4)</sup>、前田 耕志<sup>5)</sup>、前田 修司<sup>5)</sup>、伊藤 耕三<sup>6)</sup>、有田 玲子<sup>3)6)</sup>

大宮はまだ眼科<sup>1)</sup>、東京大<sup>2)</sup>、LIME 研究会<sup>3)</sup>、山口大<sup>4)</sup>、前田眼科医院<sup>5)</sup>、伊藤医院<sup>6)</sup>

【目的】マイボーム腺機能不全 (MGD) はドライアイの主因である。治療抵抗性の MGD に対する新しい Warming Compress 法として LipiFlow® (LF) がある。今回、初回 LF 無効例に追加で LF 施行し、その効果を検討した。

【対象と方法】対象は MGD 患者、初回 LF 無効の 6 例 12 眼 (30~88 (50.2 ± 18.6) 歳、男 2 例、女 4 例)。方法は、SPEED スコア (自覚症状)、涙液油層厚 (LLT)(LipiView®)、眼瞼縁所見、涙液層破壊時間 (BUT)、マイバムグレード (細隙灯顕微鏡)、マイバムスコア (Meibometer®)、マイボスコア (マイボグラフィ)。初回 LF 前、2ヵ月後に検査、追加 LF 施行し、さらに 2ヵ月後に検査した。

【結果】初回 LF 無効 12 眼のうち 8 眼はハードコンタクトレンズ (HCL) 装着歴、6 眼は涙液減少型合併、4 眼はマイボーム腺の高度脱落があった。初回 LF 前、2ヵ月後、追加 LF 後 2ヵ月で SPEED スコア 12.3 ± 4.1、10.8 ± 4.8、4.3 ± 6.4、LLT (nm) 38 ± 4、42 ± 5、69 ± 10、plugging スコア 1.7 ± 1.0、1.2 ± 1.1、0.2 ± 0.4、マイバムスコア 1.7 ± 0.8、1.2 ± 0.9、0 ± 0 と、初回 LF 前後改善なかった (p=0.93、0.998、0.56、0.54) が、2 回目 LF 後には有意に改善した (p=0.020、0.0097、0.0003、<.0001)。BUT、マイボーム腺油分、マイボスコアは有意な変化がなかった。追加 LF 無効 6 眼は HCL10 年以上の長期装着歴があった。

【結論】初回 LF 無効でも、追加 LF 施行後、患者の自覚症状、他覚所見が改善しうる。HCL 長期装着例では追加 LF 施行にても改善に乏しい。

---

[利益相反 公表基準：該当] 有  
共同演者 6：【F】(TearScience 社)  
[倫理審査：承認] 有  
[IC：取得] 有